

## 法事の心得

①在家の法事には、朝夕のおつとめ(勤行)のほかに、

- 中陰 亡くなられた日から数えて7日毎の法要
- 百か日 亡くなられた日から数えて百日目の法要
- 月忌 毎月の命日
- 祥月 毎年1回の命日
- 年忌 何年か1度に迎える命日
- 報恩講 親鸞聖人のお徳を偲ぶ法要



※本願寺・津村別院・圓満寺でも報恩講は勤まりますが、各家庭でもおつとめ致しましょう。

その他に、お盆やお彼岸の法要もあります。

②法要は、命日につとめるのが理想ですが、いろんな都合で、日・月・年が前後にずれる場合があってもかまいません。

③法要をつとめるにあたっては、まず日程をお寺と相談し、日取りが決まったら、親族知人にも通知を出します。前日までにお仏壇を綺麗に掃除し、お供物、お花やお香など買いととのえるなど、心をこめてお荘厳し、準備を致しましょう。

※お寺で法事をされる場合も同じことです。場所が変わるだけです。忘れずにお供物など準備をいたしましょう。

④法要に際しましては、お仏壇に法名が書いてある過去帳を安置し、打敷をかけます。

ローソクは主に白を用い、報恩講やお祝いやその他、おめでたい場合には朱ローソクを用います。



令和6年(2024年)は下記の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるにこしたことはありませんが、ささやかでも、まごころのこもった法要を勤めたいものです。

わからないことや相談事などございましたらお気軽にお尋ねください。

1周忌 令和 5年

3回忌 令和 4年

7回忌 平成30年

13回忌 平成24年

17回忌 平成20年

《23回忌》平成14年

25回忌 平成12年

《27回忌》平成10年

33回忌 平成 4年

50回忌 昭和50年

100回忌 大正14年